

令和3(2021)年

12月

広報

あしや

981号



10月27日、長寿園で芋掘り。芦屋町老人クラブ連合会の皆さんと町内の園児たち。関連の記事は7ページのまちのわだいに掲載しています。





夢を抱き、挑戦し続けるチャレンジャーたちを紹介します。皆さんからのさまざまな情報をお待ちしています。

透き通った花たち フレールクレール

「フレールクレール」とは、フランス語で「透き通った花」という意味だと教えてくれた山田加津子さん（中ノ浜）、83歳。60歳の時に寒冷紗かんれいしゃという農業用の布に出会い人生が変わりました。寒冷紗は網目状で透き通っているため、重ねると透明度が変わります。そこに目を付けた山田さんは知的障がい者施設で染められた寒冷紗を重ね合わせることで、複雑で奥深い色の創作花を誕生させました。



透き通った花たちに囲まれる山田加津子さん



△カラフルなわら馬の牧場のよう

どんどん湧き上がるアイデアに、わくわくが止まらない

山田さんは、時間がいくらあっても足りないほど、わくわくした気持ちでたくさんの花を夢中で作り、多くの人に知ってもらいたいと、長崎、大分、熊本、鹿児島など九州を中心に展示会を開いたそうです。すると、花の美しさや繊細さを多くの人から認められ、わくわくする気持ちに拍車がかかります。そこで、自分が感じた作る楽しさやよろこびを誰にでも体験してもらおうと、全て原寸大に原稿を書き、本拠地を芦屋町に置き〈創作花フレールクレール協会〉を立ち上げ、各地に教室を広げていきました。



△マリントラスあしやのロビーを華やかに飾る、フレールクレールの季節の花

コロナ禍は、タブレットで写真や動画を情報発信中

芦屋町では「手作りフェア in あしや」などで展示販売していたので知っている人も多いかと思いますが、現在はコロナ禍もあり展示や教室は足踏み状態。しかし、山田さんの活動は止まりません。タブレットで写真を撮影し、FacebookやInstagramフェイスブック インスタグラムで最近の作品を掲載しています。見てみると「芦屋町に伝わる八朔のわら馬を、寒冷紗を使ってアレンジした馬を作りました」とアップしていた写真は、カラフルな馬の親子でした。名付けて「花仔馬」だそうです。

豊富なアイデアと器用な指先を生かして活躍中

山田さんは、ほかにも今年で16年目を迎えた「筑前芦屋だごびーなとわら馬まつり」にも1回目から参加し続け、たくさんのだごびーなを作ってきたそうです。山田さんの花は今、マリントラスあしやのロビーにも展示されているそうです。

人口（前年同月との比較）

令和3年10月末日現在	令和2年10月末日現在
13,408人	13,645人
6,544人	6,684人
6,864人	6,961人
6,541世帯	6,561世帯

10月分の人の動き

出生…… 6人	転入…… 22人
死亡…… 20人	転出…… 100人

12月 Happy Birthday



いわさき ゆあ
岩崎 悠愛ちゃん
(山鹿)
平成30年
12月3日生まれ

いつもにこにこあーちゃん
お誕生日おめでとう♡
これからも元気にのびのび育って下さい。

